



令和 5 年 5 月 15 日

観音寺市長 佐伯 明浩 様

観音寺市新道の駅市民検討委員会
委員長 山 崎 隆 之

印

観音寺市新「道の駅かんおんじ（仮称）」基本構想について（答申）

令和 5 年 2 月 15 日付け 4 観企第 226 号にて諮問のありました観音寺市新「道の駅
かんおんじ（仮称）」基本構想について、次のとおり答申します。

答 申

観音寺市新道の駅市民検討委員会に諮問を受けた観音寺市新「道の駅かんおんじ（仮称）」基本構想の策定について、当委員会で審議を行った結果、本基本構想を妥当と認め、下記の意見を付して答申といたします。

今後、市長におかれましては、この答申の趣旨及び下記の諸点に充分留意の上、新「道の駅かんおんじ（仮称）」が“にぎわい”を創出する核となり、観音寺市が抱える課題の解決に繋がられますよう要望します。

記

- 1 新「道の駅かんおんじ（仮称）」の理念や内容を市民にわかりやすく、積極的に周知するとともに、広く市民の理解と協力を得られるよう努められたい。
- 2 新「道の駅かんおんじ（仮称）」の機能・施設については、子育て関連施設や地域産品販売施設など様々なことが考えられるが、具体的な検討にあたっては、市民や民間事業者、関係機関等と連携し進められたい。
- 3 事業費・財源については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストを含めたライフサイクルコストも踏まえ、P F I 方式など様々な手法を検討し、適切な手法を選択されたい。
- 4 西讃地域の基幹病院である三豊総合病院に近く、また交通量の多い国道・県道沿いを建設候補地とすることから、関係機関等と十分に連携し、交通環境を悪化させさないよう進入路を含めた交通対策について適切に対応されたい。
- 5 新「道の駅かんおんじ（仮称）」のみならず市内全域の活性化に資する道の駅となるよう、市内全域とのアクセス性及び導入機能等の検討を進められたい。